

中学校部会第1回推進本部報告資料

1 開催状況の概要

- (1) 日 時 令和3年7月16日(金) 午前9時45分から午前11時15分まで
 (2) 場 所 徳島県立総合教育センター 3階 研修室2
 (3) 出席者 中学校部会員11名 全員出席

2 中学校ICTスキル習得体系表(案)

分類		生徒の目指すべき姿
基本的な 操作等	アプリケーション操作	・アプリケーションの機能と特徴を理解し、場面や目的に応じて、必要な機能を使い分けることにより、効果的に活用することができる。また、様々な操作方法を自分で試行錯誤することにより習得し、作業効率を向上させることができる。
	カメラ機能活用	・静止画や動画について、利用する目的に応じて、構図やタイミングなどをあらかじめ構想し、適切なファイル形式、適切なファイルサイズを選択し、記録することができる。
	文字入力	・様々な学習場面で、必要とされる文字情報を、自ら吟味した言葉により、わかりやすく伝えるための工夫をしながら、正確に入力することができる。
問題解決 ・探究に おける情 報活用	分類整理・ まとめる力	・課題解決に向けて構想するために、フローチャート等に表し、最適化を図ることができる。
	プレゼンテ ーションカ	・表、グラフ、アニメーション等を組み合わせたスライドを作成したり、ユニバーサルデザインに配慮したスライドを作成したりするなど聞き手にわかりやすく伝えることができる。
	情報収集力	・情報通信ネットワークからの効果的な情報の検索と検証の方法を適切に行うことができる。 ・情報及び情報技術の活用を効率化の視点から評価し改善する手順を考えることができる。
	コミュニケ ーションカ	・クラウドや画面の共有機能を使い、話し合い・発表・作品制作等の協働作業を行うことができる。
情報モラ ル・情報 セキュリ ティ	情報社会の 倫理	・ネットワークを利用する上での責任について考え、ルールや法律、違法な行為のもたらす問題の重要性を理解し、対面での関係と同様に、他者を尊重し、適切に行動することができる。
	情報に関す る権利	・情報に関する自分や他人の権利があることを踏まえ、データの処理ができる。 ・著作権や知的財産権などの尊重が重要であることを理解し、適切に行動することができる。

危険回避	・ウイルス、不正アクセス、詐欺等の犯罪など、インターネットの危険性を理解した上で、安全に行動することができる。
情報の取り扱い	・情報が社会に果たしている役割や及ぼしている影響について理解し、適切に利用することができる。
健康面への配慮	・自分の健康面に留意して、情報メディアの利用による健康を害する行動を自制することができる。
情報セキュリティ	・パスワードによる暗号化やバックアップ等、生活の中で必要となる情報セキュリティの重要性を理解して、行動することができる。

3 重点目標

「主体的・対話的で深い学び」につながるタブレットを活用した授業改善
～「どんどん」「みんなて」タブレットを活用して「わかる・できる授業」の実践～

4 教職員の取組例

分類	取組例
アプリケーション操作	<ul style="list-style-type: none"> ・実物投影機で手元の操作を示したり、大型モニターに教師タブレット画面を投影したりしながら機能を説明する。 ・授業支援アプリケーションの教師用端末画面に、生徒が学習に取り組んでいる画面を表示し、学習の進捗状況や取組状況を把握しやすくして、効率的に生徒の実態を把握する。 ・各教科学習等において、授業支援アプリケーションの機能（資料やアンケートの配付・回収、画面の共有、協働作業等）を活用した授業づくりを行う。
カメラ機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに最適な大きさやファイルサイズを示し、加工の操作を指導する。 ・自分で撮影した写真や動画を取り込み、並び替え、回転、サイズ変更などしながらワークシートを完成させる。 ・どのような写真・動画が必要なのかを考え、目的にあった撮影の機会を設ける。 ・カメラ機能を使って、学習のまとめ等を動画で撮影し、クラウド上で共有し、家庭などで視聴できるように指導する。
文字入力	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のまとめや感想などをタイピング入力させる機会を設け、キーボードに慣れさせる。 ・家庭へ持ち帰ったタブレットを利用して、生活の記録や家庭学習の状況などを記録させることで、タイピングの速度を向上させる。
分類整理・まとめる力	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程の中で、どのような情報が必要かをグループで話し合わせ、よりよい改善策を考えさせる。 ・共有機能の中で、デジタル付箋などを使って、様々な情報を効率的に収集し、整理させる。また、担当するスライドをグループで話し合い、学級全体でスライドを共有し、課題解決や新しい気付きなどにつなげる。

<p>プレゼンテーション力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分だけのプレゼンテーションスライドを作成し、その過程の中でじっくり考えた後、共有のフォルダに投稿し、全員で共有し、考えを広げる。 制作したものを発表し合い、目的を達成することができたか自己評価・相互評価できるような機会をもたせるようにする。
<p>情報収集力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 複数の関連キーワードを組み合わせることで、目的のWebページを検索し、必要な情報を収集しやすくなることに気付かせる。 複数のWebサイトの情報を比較させ、信憑性のある情報を選択するように指導する。 徳島県GIGAスクール構想のWebページに掲載されている「GIGA・とくしま学び通信」で紹介されている、各教科でのICT活用の事例を参考にし、授業を実践する。 「家庭学習応援動画まなびのサポート」、「学習ガイド関係資料」等を生徒に紹介し、持ち帰った端末での家庭学習に利用させる。 <div data-bbox="906 555 1390 862" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">GIGA・とくしま学び通信</p> <p style="font-size: small;">GIGA・とくしま学び通信</p> <p style="font-size: x-small;">学校において、令和の時代の新しい教育スタイルとして、一人一台タブレット端末を活用した学習が本格的にスタートします。徳島県教育委員会では、「徳島県GIGAスクール構想」に寄り、多様な子供たち一人一人に個別最適化された教育ICT環境の実現を目指した取組を進めています。</p> <p style="font-size: x-small;">その一つとして、4月より新たに「GIGA・徳島まなび通信」を作成しました。教職員の皆様を対象に、ICTを活用した授業づくりのヒントや具体例等を定期的に配信いたします。主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり等に、ぜひ役立てていただければと思います。</p> <p style="font-size: x-small;">4月号 5月号 6月号 7月号</p> <p style="text-align: center;">GIGA・とくしま学び通信</p> </div>
<p>コミュニケーション力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業支援アプリケーションやWeb会議システムのホワイトボード機能を使って、与えた課題に対する自分の考えをまとめさせ、それをもとに発表をさせる。 オンラインで、ゲストティーチャーの話しをしっかりと聞き、質疑応答を通してコミュニケーション力を養う。 Web会議システムを用いて、他校の生徒との交流授業を行い、自校の特色ある取組等を紹介させることで、表現力の向上を図る。
<p>情報モラル・情報セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> タブレットの利用のルールを話し合わせ、決まったことを掲示したり、デスクトップ画面に設定したりする。 著作権を巡る様々な事例を動画や関連するWebサイトから調べ、話し合い、全員に共有し、考えを深めさせる。 チャット機能等を利用し、生徒同士が情報のやりとりを体験させる。その上で情報を発信するために大切なことを、デジタル付箋などを使って話し合わせ、学級全体で共有する。 帰りの学活等で、定期的に自分のIDでログインし、健康状態を記録させ、担任・養護教諭などが記録をグラフ化し、コメントを返すことで、生徒の健康をチェックする。 <p>「徳島県立総合教育センターホームページ→GIGAスクール推進→情報モラル教育（全24話公開）」</p> <p>(例) インターネットの情報 (例) SNSへの注意喚起</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="347 1787 655 2033" style="border: 1px solid gray; padding: 5px; text-align: center;"> <p>第1話 インターネットの 情報は正しいの？</p> </div> <div data-bbox="906 1787 1214 2033" style="border: 1px solid gray; padding: 5px; text-align: center;"> <p>第14話 SNS依存に ならないために</p> </div> </div>

5 学校の取組例

- ・ I C T の得意・不得意関係なく少人数で集まり，週一程度の情報交換会を開き，短時間で活動事例を紹介し，今後の計画について共有する。
- ・「〇月までに全員が教材を作成し I C T 端末を活用した授業を展開する」といった目標を設定し，それぞれの進捗状況をお互いで共有し，全体としてのスキルアップを図りながら，実践に結びつける。
- ・実践の良かった点や改善点を教員間で共有し，得られた情報はクラウドで共有したり，各学年でミニ研修をしたりするなどして情報を共有する。
- ・タブレットを活用する授業の予定を全教員が見ることのできるディスプレイに表示し，教員間でスケジュールを共有する。
- ・ W e b 会議システムを活用し，会議資料を画面共有で提示することで，資料印刷等を簡略化して職員会議の効率化を図り，研修時間を確保する。

6 今後のスケジュール

- ・ 学校計画訪問での指導・助言（9月～3月）
- ・ G I G A スクールサポート事業での校内研修支援（9月～3月）
- ・ W e b サイトでの情報発信（9月～3月）
- ・ 部会での進捗状況報告・指導・支援内容の改善検討（10月）